

## 生活行為向上マネジメントの実践疾患別事例

### 1 脳卒中モデルの事例（事例 1）

#### 【急性期】

発症前は家事・新聞配達を行っていて自立した生活を送っていた方。

左麻痺で脳梗塞発症し入院。発症2病日目よりベッドサイドから OT 開始。身体機能は、左麻痺は B.R.S 上肢Ⅲ、手指Ⅱ、下肢Ⅴ。食事の確立、その後動作練習・獲得と左上肢機能の改善で家事ができる状態を目標とし、麻痺の改善、起き上がり・立位・など基本動作、食事・トイレといった日常生活動作の練習を行った。その結果、麻痺は改善傾向で食事は自力摂取、トイレは一部介助、歩行は四点杖でできるようになる。

#### 【回復期】

発症から 15 病日目に回復期病棟へ転入となる。

15 病日～35 病日目の 20 日間は日常生活動作の自立と左上肢の麻痺の回復を目標に訓練を行った。その結果、杖歩行の獲得、入浴以外の日常生活動作は自立した。左上肢の麻痺も改善し、B.R.S 上肢Ⅴ手指Ⅳ、MFT 左 26 点、握力左 5.0kg となり、日常的に左手の使用が増えた。

35 病日目から退院までは、包括マネジメントを導入し元々の役割である家事ができるように介入した。生活状況確認表、作業聞き取りシートを使って、目標設定を患者さんと一緒に行い、味噌汁作りが 1 人でできることを目標に設定した。調理訓練、その他に洗濯物干しや簡単な裁縫、掃除の練習も行った。その結果、目標の調理は自立し、訓練室で行う模擬的な家事は自立した。

介護保険は申請せず、病前と同じ環境での在宅生活を送ることとなり、69 病日目に自宅退院となった。

1 カ月後の調査では家事を全て行い、入院前と変わらない生活を送っていた。

写真 1 左上肢訓練の様子



写真 2 調理訓練の様子



## 2 廃用モデルの事例（事例 2）

本事例は、夫の他界後しばらく独居生活をしてきたが、息子と同居してからは、人付き合いもほとんどなくなり、膝の痛みも生じてきたことから、活動量が大幅に低下し、身体機能の廃用性の低下を招いていた。炊事洗濯などの息子の世話が唯一の役割であったが、痛みや疲れやすさ、転びやすさなどにより、作業を遂行してはいるものの、本人の満足のいく状態ではなかった。特に屋外で行う洗濯物を干す作業は、毎日の日課であったが、転んでしまうこともたびたびであり、干し終わった後は疲れて休憩しなければならない状態であった。今回の介入では、身体機能の向上は難しいと判断し、自宅の物干し竿が置いてある環境で動作を行う際に、作業のやりにくさがどこにあるのかを分析した。その結果、OT の介入は、基礎練習は機能維持のために行うが、それよりも模擬的な環境を設定した中で、実際に洗濯物干しの練習を行うことを中心にした。さらに、物干し竿の近くに簡易的な椅子を設置した状況で、通所リハで行っている練習を実践してもらい、さらに動作方法を工夫した。結果的に洗濯物を干す作業が楽に行えるようになり、洗濯物を干す作業が、毎朝楽しく行えるようになったとのことである。この事例では、通所リハに加え、数回の訪問指導組を行ったことにより、実際の課題がより明確になり、また、通所リハで行っていることを実生活に生かしやすくなったものと考えられる。



写真 1：以前の物干し竿の様子



写真 2：簡易椅子に座って干す練習を行う様子

写真 3：立ったまま作業する時間が減り、バランスを崩してもすぐに座れることで安心感が生まれた



### 3 認知症モデル（事例3）

本事例は、X-3年3月頃より、物忘れが出現、アルツハイマーと診断され、その後、嫁が自分のものを取ったなどの被害的発言が多くなり、グループホームに入所となる。

しかし、帰宅要求から一度自宅に帰宅するもここは自分の家ではないと言い、昔暮らしていた10km先にある古い自宅へ帰ろうとするなどの易怒的、不穏などの心理行動症状から入院となる。アセスメントから、本人は「年寄りだがまだまだ頑張りたい」という思いが強く、記憶の低下から本人の思い違いなどで日常生活や家族関係でトラブルが生じ、家族がそれを否定や訂正をしようとする「自分をばかにしている」とイライラし、頑固な行動をとっていた。入院では、薬物療法で精神の安定を図るとともに、作業療法で本人にとってなじみのある、楽しみで仕事要素のある作業として「スティック手織り」を導入し、「仕事をしている」「自分は役に立つ」という自己肯定感を高め、情動の安定化を図った。また、本人の「できること」を評価する目的から料理や草むしりなどを行い、「能力的にできる」と評価した。その後、家族との話し合いの結果、草むしりを退院後の役割とした。

また、通所介護でも継続的に作業ができるよう介護支援専門員に申し送りを行った。

退院後は通所介護へは仕事に行くと言い送迎時には準備をして待つ、休みの日で天気の良い日は草むしりをするなど安定した生活を送っている。

写真1 調理練習の様子



写真2 スティック手織り

